



高橋あきら 後援会だより

令和8年1月 第11号

発行：高橋あきら後援会
後援会：日立市河原子町1-1-1
電話：0294-33-1273
FAX：0294-32-3620

新年を健やかにお迎えのことと存じます。

旧年中は、皆さまに温かいお支えをいただきましたことに心より深く感謝申し上げます。

日立市では、昨年12月1日時点の常住人口が16万人を割り込み、人口減少に歯止めがかからない状況であることに加え、超少子高齢化、慢性的な交通渋滞などの継続した課題が山積している状況にあります。

これら諸課題に対し、本年も様々な場で皆さまとの対話を通じて声を伺い、解決に寄与する行政への提言を進めてまいりますので、引き続きのご指導をお願い申し上げます。

皆さまにとりまして、迎えました新年が素晴らしい一年になりますことを心より祈念申し上げます。

高橋 あきら



1月6日(火) 新年名刺交換会

令和7年 第4回日立市議会定例会を開催

議案の内訳		件数[件]
1	予算関係	7
2	条例・契約関係	9
3	その他(人事案件・専決処分等)	30
4	報告	2
5	陳情・請願	0

12月4日(木)から18日(木)までの15日間の会期日程で、定例会が開催されました。

本定例会の中で提出された議案等は計48件であり、それぞれ所管する事項毎に各委員会へゆだねられ、慎重に審査・調査を行いました。

その後、本会議の中で、各委員長より報告があり、議会としての採決の結果、全議案とも原案可決ならびに原案承認となりました。

令和7年度12月一般会計補正予算【補正額】1億6,917万円

原案
可決

主な事業(補正の概要)

1. 共創プロジェクト推進事業費【400万円】

- ▶(株)日立製作所と共同で、共創プロジェクトのプロモーション動画を制作

2. 自立支援等給付事業費【1億7,300万円】

- ▶就労移行・就労継続支援の利用件数増加等に伴い、自立支援等給付費(扶助費)を増額

3. 老人福祉施設等の民間施設整備費 補助事業費【2,340万円】

- ▶民間事業者における特別養護老人ホームの介護用設備整備(見守り付きベッド等)に係る費用を補助
 - ・事業者：社会福祉法人 日立高寿園
 - ・施設名：サン豊浦(川尻町)

4. 私立保育園補助事業費【65万円】

- ▶私立保育園における防犯対策用の施設整備(門扉改修)に係る費用を補助
 - ・事業者：社会福祉法人 夢の種
 - ・施設名：南高野保育園(茂宮町)

5. 生活保護費支給費【1億3,959万円】

- ▶医療扶助増加等に伴い、生活保護費(扶助費)を増額

6. 金融支援対策事業費【3,361万円】

- ▶自治・振興金融融資制度に係る保証料補給について、制度利用者の増加等に伴い補助額を増額



民主クラブ(会派)の一般質問

Q 日立市議会定例会会議録

詳細は、日立市議会会議録「令和7年第4回定例会」をご参照下さい。



粕谷議員

1. 財政政策について

- (1)本市の財政状況について
- (2)令和8年度の予算編成について
- (3)今後の財政運営について

2. 避難行動要支援者の避難支援について

- (1)避難行動要支援者個別避難計画の作成について
 - ア 個別避難計画作成の課題について
 - イ 個別避難計画作成率の向上について
- (2)避難行動要支援者の安否確認方法について

3. オンライン教育による不登校対策について

- (1)メタバースを活用した不登校児童生徒の学びの機会について

豊田議員

1. 障がい者が社会参加するための支援について

- (1)移動が困難な障がい者の支援について
 - ア 自動車改造における費用助成の要件緩和について
 - イ かみね動物園の利便性向上について
- (2)新型コロナウイルスワクチン接種等の費用助成の拡充について
- (3)障がい者福祉用具体験施設整備について

2. 新たな観光資源としてのロケ地活用について

- (1)ロケ地の情報発信について
- (2)作品が身近に感じられ市内周遊につながる仕掛けづくりについて

3. 若者が集い交流を図ることができる施設整備について



国道245号久慈大橋の事業進捗状況を確認 ～慢性的な渋滞緩和に向け～



現地調査にて説明を受ける様子

定例会会期中の12月15日(月)、幹線道路整備促進特別委員会において、県管轄事業の一つである「国道245号久慈大橋」について、現地調査を実施し、事業の進捗状況を確認しました。

本事業は、慢性的な渋滞が発生している久慈大橋の4車線拡幅整備を行うもので、令和元年に事業化

事業概要

全体事業費		100億円
全体計画	延長	1.0km
	幅員	22.5m

令和7年度の事業

事業費：4.6億円
 ・護岸仮移設工事
 ・橋脚工事 など
 進捗率：事業…約7%
 用地…約90%
 (令和6年度末)

となりました。渋滞緩和による利便性や安全性向上に加え、重要港湾である茨城港常陸那珂港区および日立港区へのアクセス向上や物流ネットワークの強化などが期待されます。

今後は、護岸仮移設や工事用道路の工事を進めた後、橋梁下部工事が進められていく予定です。



トピックス

本年4月より水道料金を改定

～将来にわたり安心して安全な水道事業サービスの安定的な提供に向け～

本市の水道事業は、昭和15年に設立された日立水道(株)を、昭和21年に市が買収した後、昭和23年から供用を開始しました。現在、市内の南部、中部、西部は久慈川を水源とした森山浄水場から、北部は十王川を水源とした十王浄水場から安定した給水を行っています。

しかし、本市の水道施設は、老朽化の進行や、近年、自然災害が激甚化・頻発化している状況から、管路や施設の老朽化および耐震化対策の強化を図る必要があります。

加えて、人口減少による給水人口や有収水量の減少に伴い、主要な財源である料金収入は減少傾向にあり、水道事業は厳しい経営環境に置かれている状況にあります。

よって今後は、管路に加え、浄水場等の施設の更新事業にも本格的に着手(将来の水需要を見極めながら、ダウンサイジングや統廃合を検討)するため、事業費の平準化を図りながら計画的に推進していかなければなりません。

このような状況から、今般、施設の老朽化および耐震化対策事業を推進し、安心して安全な水道事業サービスを安定的に提供するため、本年4月より経営基盤強化に向けた水道料金の改定(平均20%引き上げ)が行われます。

現行水道料金体系の特徴と収支見通し

①単身世帯や高齢者世帯など少量使用者の負担を軽減

- ▶使用水量に応じて従量料金単価が高くなる逡増(ていぞう)型従量料金制を採用
- ▶一般家庭を中心とした小口径(13～25mm)の使用水量10㎡までの単価を23円に抑制

②収支見通しは令和8年度に「赤字」

新水道料金体系の考慮点

①一般家庭に配慮した料金体系

- ▶物価高騰が続く社会情勢をふまえ、一般家庭における使用水量が概ね月30㎡までの改定率を「20%未満」に抑制

②安定的な経営を確保するための料金体系

- ▶使用水量が減少傾向にある中、安定的な経営を確保するため、使用水量の減少に影響されにくい基本料金の収入割合を「現状以上」とする

◆改訂前後の収入割合

区分	基本料金	従量料金
改定前 (R6決算見込)	42.56%	57.44%
改定後 (新料金体系)	43.04%	56.96%

◆改定後の水道料金(例)

※1ヶ月あたりの税込料金

水道メーター口径		13mm	20mm		30mm	50mm
使用水量		10㎡	20㎡	30㎡	50㎡	80㎡
イメージ		単身世帯 高齢者 学生	2人世帯 3人世帯 	3人世帯 4人世帯 	飲食店 	工場
水道料金(税込み)	現行料金	1,122円 基本: 869円 従量: 253円	2,970円 基本: 1,331円 従量: 1,639円	4,554円 基本: 1,331円 従量: 3,223円	10,318円 基本: 2,002円 従量: 8,316円	19,206円 基本: 4,950円 従量: 14,256円
	改定後料金	1,331円 基本: 1,034円 従量: 297円	3,531円 基本: 1,595円 従量: 1,936円	5,456円 基本: 1,595円 従量: 3,861円	12,419円 基本: 2,398円 従量: 10,021円	23,188円 基本: 5,940円 従量: 17,248円
	差額(改定率)	+209円 (18.6%) 基本: 18.9% 従量: 17.4%	+561円 (18.9%) 基本: 19.8% 従量: 18.1%	+902円 (19.8%) 基本: 19.8% 従量: 19.8%	+2,101円 (20.4%) 基本: 19.8% 従量: 20.5%	+3,982円 (20.7%) 基本: 20.0% 従量: 21.0%

行政手続のオンライン化が令和7年度末に完了へ

～市民や事業者のさらなる利便性向上と負担軽減を図る～

本市では、令和4年に策定した「日立市デジタル化推進計画2022」に基づき、①「デジタル化推進基盤の構築」、②「便利で豊かな生活が実感できる社会の実現」、③「さらなる行政事務の効率化・省力化」、④「安全に安心して暮らせるまちづくり」の基本方針の下、すべての市民がデジタル技術の恩恵を享受できる「ひたち型スマートライフ」の構築を進めています。

これまで、マイナンバーカードの普及促進をはじめ、マイナンバーカードを活用した各種証明書のコンビニ交付、公共施設へのWi-Fi整備、「行かない窓

口」の一環である行政手続のオンライン化などの取組が進められてきています。

そのうち行政手続のオンライン化については、各種申請や届出等の行政手続における市民や事業者の利便性向上と負担軽減を図るもので、今年度末までにすべてのオンライン化可能な行政手続をオンライン化する予定で取組が進められています。

なお、オンライン申請を利用される際は、市ホームページ内のスマート窓口欄にある「オンライン申請ポータルサイト」から利用が可能となっておりますので、ぜひご利用ください。

◆オンライン化の進捗状況

行政手続数	オンライン化可能手続数	オンライン化の進捗状況	
		令和6年度末時点	令和7年度末(予定)
1,593件	1,102件	602件	1,102件

◆オンライン申請ポータルサイト



行政窓口へのAI音声認識文字起こしサービスを導入

～聞こえに不安のある方に対する窓口対応の質向上に向け～

昨年12月より、本庁と日立駅前出張所窓口において、聞こえに不安のある方に対する窓口対応の質向上を図るため、職員が発した言葉をリアルタイムで文字化し、モニターに表示するAI音声認識文字起こしサービスを導入しています。

設置数については、市民の来庁が多い、本庁窓口15か所に計17台、ヒタチエ1階の日立駅前出張所

窓口に1台の計18台になります。

なお、窓口対応にて行った対話内容については、データベース化を図り、別途導入した生成AIによる分析等を通じて、さらなる窓口サービスの向上や広報の充実、業務の効率化につながる施策の検討に役立てていく予定となっています。

施設名	設置場所			設置台数
本庁舎	1階	海側	市民課、国民健康保険課	3
		山側	高齢福祉課、障がい福祉課、介護保険課	4
	2階	海側	市民税課、資産税課、納税課	3
		山側	広報戦略課(市民相談室)、生活支援課	2
	3階	海側	生涯学習課	1
	4階	山側	総務課	1
	5階	海側	道路管理課、商工振興課	2
ヒタチエ	6階	海側	料金課	1
	1階	—	日立駅前出張所	1
合計				18

※障害福祉課と国民健康保険課は2台、その他の課所は1台設置



編集後記

本年は、新春寒波の襲来により寒さが厳しい年明けとなりました。気象庁の予報では、厳しい寒さが続く見込みですので、ヒートショックや体調等に気を付けてお過ごしください。また、1月24日には、市役所大屋根広場にて、ひたちファンクラブ主催の初イベント「ひたち万博」が開催されます。近くにお出かけの際は、ぜひ会場へお立ち寄りください。

仕事の不満や不安、悩まないでお電話を
何でも労働相談
0120-154-052
適合の茨城